

# 日本哲学会 第69回大会(大分大学 旦野原キャンパス)プログラム

5月15日(土) < 第1日目 >

|                 | 研究発表第1会場<br>(教育福祉科学部100号)   | 研究発表第2会場<br>(教育福祉科学部200号)                 | 研究発表第3会場<br>(教育福祉科学部300号)                 | 研究発表第4会場<br>(教養教育棟第二大講義室)                              |
|-----------------|---|---|---|--|
| 10:00~          | プラトン『国家』 巻における知識と思わくの区別について<br>太田 和則  | 『哲学探究』における度量の論理<br>川崎 誠                   | 自然的個体の発生 ジルペール・シモンドンの個性化論素描<br>橋 真一       | <最も形而上学的な実在>の存在について<br>菅沼 聡                            |
| 10:40~          | パークリ哲学における精神と言葉 -アイルランドの哲学的伝統を背景として<br>野村 智清  | 転倒された理性 ヘーゲル『精神現象学』における観察的理性の意義<br>野村 卓史  | 前期ドゥルーズにおける発生の問題 なぜ動的発生は必要とされるのか<br>小林 卓也 | 様相的知識とイマジネーション<br>宮園 健吾                                |
| 11:20~          | 1684年の「大いなる光」とその変容 Chr. ヴォルフの表象分析論<br>中澤 武  | 精神の証言 ヘーゲル後期体系における「客観的思想」の問題について<br>石川 和宣 | 習得の構造としての超越論的経験論とその展開<br>山森 裕毅            | 知識破壊テーゼと「信頼」概念の規範性 -バーナード・ウィリアムズによる倫理的客観性の擁護 -<br>天野真将 |
| 12:00~          | 委員会(教育福祉科学部 第一会議室)  |   |   |  |
| 13:00~          | <b>第62回総会(教養教育棟 第一大講義室)</b><br><br>【式次第】<br>・議長挨拶<br>・会長挨拶(高山 守)<br>・一般報告(新田孝彦)<br>・国際交流活動報告 (古茂田宏)<br>・前年度決算報告(榊原哲也)<br>・会計監査報告 (高橋久一郎・山田弘明)<br>・本年度予算案審議(一ノ瀬正樹)<br>・編集委員会報告(金山弥平)<br>・役員組織改正について<br>・若手奨励賞表彰式 |   |   |  |
| 14:00~<br>17:00 | <b>シンポジウム(教養教育棟 第一大講義室)</b><br><br>「現代における<死>」<br><br>提題者<br>田中 智彦<br>藤田 真利子<br>森 一郎<br><br>司会<br>一ノ瀬 正樹<br>大橋 容一郎  |   |   |  |
| 18:30~          | 懇親会(場所:大分東洋ホテル 大分市田室町9番20号 TEL:097-545-1040 会費:5000円)   |   |   |  |

大会本部 (教育福祉科学部 地域交流室)  
 会員控室 (教育福祉科学部 204号)  
 電話連絡先:090-3802-5114

5月16日(日) < 第2日目 >

|                 | 研究発表第1会場<br>(教育福祉科学部100号)  | 研究発表第2会場<br>(教育福祉科学部200号)                          | 研究発表第3会場<br>(教育福祉科学部300号)   | 研究発表第4会場<br>(教養教育棟第二大講義室)   |
|-----------------|--|--|---|---|
| 10:00~          | カントによるヒュームの懐疑論の受容 純粹悟性概念の起源と純粹意志の問題<br>増山 浩人                           | 「同じものの永遠回帰」の思想の位置付け 断章 11[141]の叙述に基づいて<br>岸 貴介     | 叡智的世界の諸相 自己再帰性から偶然性への軌跡<br>小田桐 拓志   | ワークショップ<br>テーマ<br>「高等学校の「哲学・倫理」教育で何をどのように教えるか<br>大学での哲学教育・教養教育と高校教育との連携に向けて」<br>報告者<br>木阪貴行<br>河野哲也<br>塩川千夏<br>司会<br>直江清隆 |
| 10:40~          | 裁判員制度とカント哲学 トランスモダンの倫理学<br>平田 俊博                                       | ニーチェの意志の哲学における健康と趣味<br>梅田 孝太                       | 「西田哲学」の独自性とは何か<br>渡部 清  |   |
| 11:20~          | 理念の統制的使用とはなにか 「純粹理性批判」「超越論的弁証論への付録」の検討から<br>市毛 幹彦                      | 真理と了解 ヤスパースの真理論の解明に向けて<br>松野 さやか                   | 日本哲学のポテンシャル 坂部恵の「いつか来た道」を辿って<br>張 政遠  |   |
| 12:00~          | 委員会(教育福祉科学部 第一会議室)   |  |   |   |
| 13:00~          | アーレントの道徳哲学批判 思考と意志のあいだ<br>三浦 隆宏  | ハイデガーにおける「最も危険なもの」としての言葉の淵源 ヘルダーリン論を手掛かりに<br>木村 史人 | 変化における持続の原理としての習慣 パースのプラグマティズムとの関連で<br>佐古 仁志                                | 環境破壊と不可知性 科学的環境保護対策が抱える諸問題について<br>渡辺 貴史   |
| 13:40~          | マイケル・ウォルツァーの「グローバルな市民社会」について ヘーゲルとカントの止揚としての国際社会像<br>濱井 潤也             | 理性と意志 レヴィナスとアウグスティヌス<br>小手川 正二郎                    | 抱握と実在 ホワイトヘッド『科学と近代世界』における「抱握」概念の誕生とその展開<br>森 元斎                            |   |
| 14:20~          | 休憩   |  |   |   |
| 14:30~<br>16:30 | 【共同討議 (教養教育棟 第一大講義室)】<br>「形而上学再考」<br>提題者<br>柏端達也<br>坂下浩司<br>司会<br>入江幸男 |  | 【共同討議 (教養教育棟 第二大講義室)】<br>「哲学史を読み返す～マルクス」<br>提題者<br>麻生博之<br>田畑稔<br>司会<br>高田純 |   |

大会本部 (教育福祉科学部 地域交流室)  
 会員控室 (教育福祉科学部 204号)  
 電話連絡先:090-3802-5114